

【参考資料】⑤小学校柔道体験学習・秋田県

第2学年A組 体育科学習指導案

指導者 近藤 菜那
学級生活支援サポーター 中西 祐子

1 単元名 めざせころび方名人！

(体づくりの運動遊び 多様な動きをつくる運動遊び・体のバランスをとる運動遊び)

2 単元の目標

- 多様な動きをつくる運動遊びの行い方を知るとともに、体のバランスをとる動きをして遊ぶことができるようにする。
(知識及び運動)
- 多様な動きをつくる遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。
(思考力、判断力、表現力等)
- 多様な動きをつくる運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り誰とも仲よく運動したり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。
(学びに向かう力、人間性等)

3 単元の評価規準

知識・運動	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
◆体のバランスをとる動きをして遊ぶことができる。	◆多様な動きをつくる運動遊びで、友達のよい動きを見付けたり伝えたりしている。	◆順番やきまりを守り、思いやりの心をもって誰とも仲よくしようとしている。

5 本時の実際 (2 / 2)

(1) ねらい

楽しく安全に転がることを通して、友達のよい動きを見付けたり伝えたりしている。
(思考・判断・表現)

(2) 展開

時間	学習活動と予想される反応	学習形態	教師の主な支援と評価
2	1 始めのあいさつをする。	全	○友達への思いやりの心を高めることができるように、相手を尊重するための礼を丁寧に行う手本を示す。
2	2 本時のねらいを知り、本時のめあてについて考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">あんなころび方を見つけよう。</div>	全	○学習の見通しをもつことができるように、前回の学習を想起してめあてを考える。
7	2 準備運動をする。 ・おへそ発見 ・ゆりかご ・だるま ・丸太転がり ・前転がり	全	○安心して活動ができるように、マットに慣れる運動を取り入れる。 ○転がる運動を安全にできるように、順番やきまりを確認する。
15	3 楽しくできる遊び方を選んで、多様な動きをつくる運動遊びをする。 ・タッチでゴロン (ゆりかご) ・フラフープでゴロン ・なかよしゴロゴロ (丸太転がり、前転がり) ・坂道ゴロゴロ (丸太転がり、前転がり)	グループ	○誰とでも仲よく楽しく転がる運動ができるように、2～3人で活動する場を設ける。 ○友達のよい動きを見付けることができるように、頭を打たないことや体を丸めることをポイントとして提示する。
7	4 友達のよい動きを見付けたり考えたりしたことを紹介し合う。	全	○友達の動きのよいところや理由を紹介することができるように、話型を用意する。
5	5 学習のまとめをする。 ○安全な転び方のポイント ○受け身の大切さ ・頭をうたないように気を付ける ・体を丸めるとけがをしない	全	<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center;">楽しく安全に転がることを通して、友達のよい動きを見付けたり伝えたりしている。 (観察・シート)</div> ○受け身の大切さが実感できるように、投げ技の実演をする。
5	6 振り返りをする。	全	○学んだことを実感できるように、大切だと思ったことやこれからの生活に生かしたいことを振り返りの視点として提示する。
2	7 終わりのあいさつをする	全	○心を込めてあいさつをすることができるように、心を落ち着かせて黙想をする。